

## HESED外国語学校世田谷校 自己点検・評価項目表

日本語教育の告示基準(法務省出入国在留管理局)の第一条第一項第十八条に従い、当校に関する自己点検・評価を行い、報告書を作成しました。

尚、報告書の作成に当たり、点検・評価項目のリストは、文部科学省作成による「専修学校における学校評価ガイドライン」と日本語教育振興協会作成による「日本語教育機関のための自己点検・評価項目」を参考にし作成したものです。

## 総括(達成状況など)

学生が留学の目的を達成できるよう、教育・指導・支援を行うことを根本においた上で、法令を遵守し、健全な経営を心掛ける姿勢は不変である。しかしコロナ禍が長期化し、非常に苦しい経営状況が続いたため、様々な点で教職員の多大な努力と工夫を要する1年であった。2020年末以降、学生が来日出来なかったことから予定のクラス数を確保できず、適正なクラス編成を行うことが困難になった。そこでグループ別に分ける時間を設け、学生の適正に応じた授業を実施することで対応した。また日本での体験を豊かにするための課外授業や学校行事も厳しい制約の中で十分に行うことはできなかった。さらに本国の家族の経済的事情の変化によって、途中で退学したり、進学を断念したりせざるを得ず、当初の計画より早い帰国を余儀なくされる学生が少なかったことも、やむを得ないこととはいえ、悔やまれる。不本意なことの多かった1年である。一方で、様々な状況が変化中、学生が正当な公的支援を受けられるよう、進学先などの情報を見落とすことの無いよう、検査や治療が速やかに受けられるよう、ワクチンが適切に接種できるよう、その他多くの面で教職員が学生を支えてきた結果、教職員の新しい事態への対応力が格段に向上し、学生との信頼関係も強く深いものとなった。また不十分ではあったものの、安全と予算を考慮しながら課外授業や学校行事を行ってきたことで、新しいアイデアが生まれ、教職員の連携がスムーズになっている。昨年度同様、教職員全員が無事で、同じ目標に向かって協力できたこと、また日本で進学が可能だった卒業生たちがそれぞれ希望の道へ進めたことをまずは喜びたい。そして以前から持ち越してきた課題や、特殊な状況下で新たに気づいた課題を見直し、改めて優先順位や実現可能な範囲を見極め、効率的に取り組んでいきたい。

## 課題・改善計画

今年度の課題は、従来から持ち越している、将来構想、当校が実情に合わせて装備していくべきこと、地域貢献・社会貢献お3点に、授業と進学指導の充実が加わった。まず授業と進学指導の充実を最優先とし、改善を図る。一斉オンラインや対面とオンラインを組み合わせた授業が多用されたが、その際に学生の集中力が低下しがちで、授業の効果が減少してしまう。今後も、コロナウイルス反応が陽性でも無症状な場合や感染が疑われて検索結果を末場合に登校できない学生が自宅から参加するなど、オンライン授業は続くと思われるので対策を考えたい。また課外授業や学校行事について、行先、内容、会場、他校の実施例などの情報をより多く集め、検討し、有意義で学生の満足感が得られるものを行っていきたい。進学指導ではオンラインでの指導を活用することで、かえって個別指導がやりやすくなったという一面もある。しかし経済状況の悪化による進学断念をさせないためには、奨学金などに関してより広く知っておく必要がある。将来構想については、コロナ後の社会情勢を見据えた上で改めて考えることから始める。経営者、教職員それぞれの観点から意見を持ち寄って、新しい社会の需要に応える準備を進めたい。また装備の面では、オンラインでコミュニケーションの更なる円滑化と防災の備えに重点をおいて充実を図る。地域貢献・社会貢献については積極的に取り組む余力があるか不安ではあるが、少なくとも常に意識を持ち、機会があればそれを見逃さずに活用できるよう備えておきたい。想像をはるかに超えた社会状況にあっては、開校時の計画に固執せず、日本や学習者の母国の社会の変化により一層の注意を払い、学習者のニーズに柔軟に対応していく構えをとりつつ、中長期的な観点から改めて将来を展望しなければならぬと考える。

- 評価基準
- 4 適切に対応している。今後も更なる向上のために努力する意欲がある。
  - 3 ほぼ適切に対応しているが、不十分なところもあり改善が必要である。
  - 2 対応が十分ではなく、課題を分析し、改善に向けて取り組む必要がある。
  - 1 対応しておらず、改めて学校の方針から見直し改善する必要がある。

## 1. 教育理念・目的・育成人材像

- |   | 評価      |
|---|---------|
| (1) 学校の教育理念・目的・育成人材像は明確に定められているか            | ④ 3・2・1 |
| (2) 学校の教育理念・目的・育成人材像が社会のニーズなどを踏まえたものとなっているか | ④ 3・2・1 |
| (3) 国際情勢や社会のニーズなどを踏まえた将来構想を抱いているか           | 4・③ 2・1 |
| (4) 学校の教育理念・目的・育成人材像が学生・教職員関係者等に周知されているか    | 4・③ 2・1 |

## 2. 学校運営

- |   |         |
|---|---------|
| (1) 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか          | ④ 3・2・1 |
| (2) 学校の理念や目的に沿った運営方針・事業計画が策定されているか        | ④ 3・2・1 |
| (3) 意思決定が組織的になされ、かつ効果的に機能しているか            | ④ 3・2・1 |
| (4) 人事・給与に関する規定等が整備されているか                 | ④ 3・2・1 |
| (5) 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ組織的におこなわれているか | ④ 3・2・1 |
| (6) 法令遵守のためにコンプライアンス意識を高めるための取り組みをしているか   | ④ 3・2・1 |
| (7) 教育活動等に関する情報公開が適切に行われているか              | ④ 3・2・1 |
| (8) 入国管理局・関係諸官庁への届出・報告を滞りなく、行っているか        | ④ 3・2・1 |
| (9) 情報システム化を進め、業務の効率化が図られているか             | 4・③ 2・1 |

### 3. 教育活動

- (1) 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針・進度が策定されているか 4・③・2・1
- (2) 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 4・③・2・1
- (3) カリキュラムはシラバスに沿って体系的に構成されているか ④・3・2・1
- (4) 授業評価の実施・評価体制はあるか、また適切に行われているか 4・③・2・1
- (5) 成績評価・進級・修了・卒業の判定基準は明確になっているか ④・3・2・1
- (6) 日本語能力等の検定試験取得に向けた指導体制やカリキュラムが組まれているか ④・3・2・1
- (7) 理解度・到達度を適宜確認し、適切なクラス編成を行っているか 4・③・2・1
- (8) 教員の指導力育成・資質向上のための研修会等の取り組みが行われているか 4・③・2・1
- (9) 職員の業務能力開発のための研修等が行われているか 4・③・2・1

### 4. 学習成果

- (1) 進学率の向上が図られているか 4・③・2・1
- (2) 検定試験等の資格習得率の向上が図られているか 4・③・2・1
- (3) 退学者を軽減するための指導や対策がうまく機能しているか 4・③・2・1
- (4) 卒業生の進路(進学先やその後のキャリア)を適切に把握しているか ④・3・2・1
- (5) 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、在学生への教育活動の改善につなげているか 4・③・2・1

### 5. 学生支援

- (1) 交通安全・防犯ビデオ等を使用して、生活に関するオリエンテーションが行われているか ④・3・2・1
- (2) 入学時より学生の希望進路を把握し、一貫した進路指導が行われているか ④・3・2・1
- (3) 学生の生活状況についても定期的に調査し、学生相談に関する体制も整備されているか ④・3・2・1
- (4) 奨学金等学生に対する経済的支援体制が整備されているか 4・③・2・1
- (5) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 4・③・2・1
- (6) アルバイトに関する調査を行い、指導・支援を行っているか ④・3・2・1
- (7) 保護者と適切に連携して、学生指導を行っているか ④・3・2・1
- (8) 卒業生への支援体制はあるか ④・3・2・1

### 6. 教育環境

- (1) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ④・3・2・1
- (2) 学内における安全管理体制が整備されているか ④・3・2・1
- (3) 学習効率を図るための照明や遮音性が確保されているか ④・3・2・1
- (4) 自然災害や緊急時における体制は整備されているか 4・③・2・1

### 7. 学生受け入れ募集

- (1) 学生募集活動は適正に行われるか ④・3・2・1
- (2) 学生募集活動において、カリキュラム等の情報が正確に伝えられているか ④・3・2・1
- (3) 学生募集活動において、日本での留学生活についての情報の正確に伝えられているか ④・3・2・1
- (4) 学納金は妥当なものとなっているか ④・3・2・1

### 8. 財務

- (1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ④・3・2・1
- (2) 予算・収支計画は有効性及び妥当性がも保たれているか ④・3・2・1
- (3) 財務について会計監査が適正に実施されているか ④・3・2・1
- (4) 財務情報を公開する体制は整備されているか ④・3・2・1

### 9. 法令等の遵守

- (1) 出入国管理関係・日本語学校設立基準等の法令が遵守されているか ④・3・2・1
- (2) 個人情報保護のための対策が取られているか ④・3・2・1
- (3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ④・3・2・1
- (4) 自己評価結果の公開が適切に行われているか ④・3・2・1

### 10. 社会貢献・地域貢献

- (1) 学校の教育資源は施設を活用して社会貢献・地域貢献の取り組みが行われているか 4・③・2・1
- (2) 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか 4・③・2・1
- (3) 地域や社会に開かれた開講座等を実施しているか 4・③・2・1